



# 育てよう！ 校庭の芝生

No.3  
2011年3月



世田谷区立  
花見堂小学校

**芝生のお披露目は地域の夏祭り！**  
～地域の力を活かして芝生を育てたい～



自分たちの手で苗の  
植え付けもしました

## 今回のラインナップ

ー芝生の手入れはどうすればいいだろうー

- ◆ どんな作業をすればいいの？  
どんな体制で管理をすればいいの？
- ◆ 学校の特徴に合った無理のない管理をしているね！
- ◆ シリーズ芝生の効用 その3  
校庭の芝生化は、地域にとってどんな効果がありますか？
- ◆ リポート 実地講習会
- ◆ 東京芝生応援団のボランティア活動紹介
- ◆ 東京都からのお知らせ

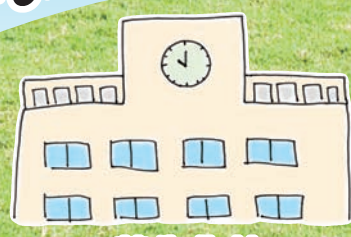
8月29日、芝生のお披露目を兼ねて、花見堂小学校の校庭では地域の夏祭りが行われました。

芝生の一部は、芝生に愛着をもってほしいという校長先生の願いから、全校児童と保護者によって植えられています。

校長先生は、開催挨拶の中で、実際に芝生に触れて関心をもってもらいたい、とお祭りに訪れた方々に語りかけていました。

芝生の校庭を維持するために 芝生の手入れはどうすればいいだろう？

どんな作業をすればいいの？



芝生化校



PTA



先生



地域・団体

芝刈りが管理の基本です！

芝生を維持するためには、日常的に行う作業として、芝刈り、散水、施肥があります。

- 芝刈り …… 芝生の生育期には週1回程度を目安に
- 散水 …… スプリンクラーの設置で手間を省略
- 施肥 …… 芝生の生育期には月1回程度を目安に

これ以外の特別な管理は、芝生の専門家や造園業者に依頼することも考えられます。



どんな体制で管理をすればいいの？

芝生に興味のある教職員がいる

PTA活動や地域の校庭利用が盛ん

以前から地域の高齢者との交流がある

地域が学校を支援する仕組みがある

学校の特徴に合った体制を考えてみよう

教職員中心

PTAや校庭利用団体の協力

地域のゆるやかな協力

地域のリーダーを核に様々な人と連携

管理を続ける  
工夫いろいろ

# 学校の特徴に合わせて無理

## まずは教職員が、できることから始めました

— 日常の手入れは教職員で、運動会前など年に数回は地域・保護者も一緒に行っています —

### 清瀬市立清瀬小学校



校庭周縁部芝生化(540㎡)

冬芝のオーバーシードを行っているが主体は夏芝。  
広くないため3人でも管理できている。

#### ■少人数で地道に、時に大勢で

芝刈り、散水、施肥といった日常の手入れ作業は、校長と副校長、用務主事の3人で行い、夏休みには全教職員で行っています。

そのほか、運動会の前や、数ヶ月に1回程度は、保護者や地域の方に呼びかけて一緒に芝刈りをしています。以前から、学校には花壇の手入れを行う環境ボランティア活動もあり、芝刈りには大勢の方が参加しています。

#### ■芝刈りの大切さを実感

芝生整備の翌年は雑草取りをしていましたが、専門家の方からのア

ドバイスで雑草取りをやめました。「雑草取りはとても大変だったため、芝刈りをきちんとすれば必要ないということにとっても驚き、アドバイスに感謝しました。」用務主事の方はそう語っていました。

時々  
地域も参加

学校  
中心

## 一人ひとりの負担を小さく、気軽な参加を呼びかけ

— PTAの協力によって当番制が軌道に乗っています —

### 日野市立東光寺小学校



トラック部以外ほぼ全面芝生化(2,142㎡)

10月は「3年生の保護者」の当番月。  
PTA役員はおそろいのユニフォームで参加。

#### ■6年間のうち1回参加の当番制

東光寺小学校の芝生管理作業は、参加日を選べるシステムです。

月ごとに担当学年が決められているため、保護者は自分が当番となった月の参加可能な活動日に登録し、作業に参加します。

PTA役員の方は「学校が作成した年間の作業予定をもとに、PTAだけで参加者を募集します。6年間のうちに1回程度のボランティアとして参加しませんか?と呼びかけています。」と語っていました。

PTA他

公平に  
当番制

#### ■芝生化3年目で軌道に

参加者の募集受付や名簿の作成等は、PTA役員が行っています。

活動日は土曜日を基本として年間21回程度です。学校とPTA役員、保護者らによる「みどりの学び舎応援隊」や校庭等の利用団体の協力で毎回20名から30名程度の参加があります。芝生化から3年目に入り当番制が定着しつつあります。

## 特別な管理は専門家に任せよう

芝刈りなどの日常的に行う作業は、機械や道具、人数を工夫することで誰でもできます。それ以外に、芝生の状況や種類に応じて必要な管理があります。年に1回から数回の技術を要する特別な作業は、なるべく専門家に任せましょう。

導入校からの  
ワンポイントアドバイス

実は重要!

### 芝刈り機のメンテナンス

芝刈り後は、よく水洗いして葉やほこりを落としましょう。刃は、1年ほどで切れ味が悪くなります。修理には費用がかかる場合もあるので、業者や専門家に定期的な点検・調整をお願いします。

### 更新作業

- ・エアレーション
- ・目土入れ

○生育が衰えた芝生の発根を促したり、踏まれて固くなった土に空気を入れて、通気と透水性をよくするために行う作業です。専用の機械を使って古い茎や根を切る方法が一般的で、これをエアレーションといいます。

○目土(目砂)入れも、発芽や発根を促します。

### オーバー シーディング

○夏芝から冬芝への移行のため、あるいは補植のために芝生の種をまく作業です。

○一般的にエアレーションや目土入れと組み合わせて行います。

特別な管理

# のない管理をしているね！



## 組織化しなくても自由参加で集まる

— 地域の方々が芝生に関心を寄せ、交流が広がっています —

### ■芝生の校庭は交流の場

校庭を芝生化する際に、地域の方がとても協力的でした。芝生化以後は、作業内容を学校が芝生の専門家と相談して決めています。手入れの主体は地域の高齢者団体「六小会」の方々です。毎月6の付く日など

月に3回程度集まり、作業量は決めずに、集まった人ができることを行っています。

参加者からは、芝刈りをした後の香りが清々しい、ちょっとした運動になる、地域の方と顔を合わせる良い機会になっている、そんな声が聞かれます。

### 新宿区立四谷第六小学校



全面芝生化(1,239㎡)

作業日の参加者は、10名から20名程度。PTA主催によるイベントなど、地域の交流の場に。

地域  
高齢者団体

気軽な  
自由参加

### ■地域の協力を活かした体制づくりへ

校長先生は「ゆるやかな活動でうまくいっており、あえて組織化していません。一方で新年度は新宿区の地域協働学校としてスタートするため、今後はその特質を活かした管理体制を考えたいと思っています。」と語っていました。

地域  
学校  
応援団

地域の  
リーダーを  
核とした  
連携

### ■地域のネットワークを活かして

金町小学校では、日頃から青少年委員やPTAなど様々な団体や個人が「学校応援団」として学校の支援活動を行っています。芝生の手入れもその一つ。金曜日を活動日として、地域の方が芝刈りや雑草取り、施肥をしています。

中でもグリーンリーダーの方は、普段から芝生の状態に目を配りな

## グリーンリーダーと地域の方で広がる参加者

— 地域が学校を応援する仕組みが土台になって、様々な方が参加しています —

### 葛飾区立金町小学校

がら、地域の方々に声をかけて参加の輪が広がっています。近くの河川敷グラウンドで活動している野球チームが雑草取りに立ち寄りたり、児童のお母さんが出勤前に一人で雑草取りをしたりと、いろいろな方が芝生の手入れに訪れています。

### ■参加の楽しさを継続へつなげたい

校長先生は「地域によって様々だが、核になる人はいると思う。私の役割は手入れに参加した人が、来て良かった、と思えるようにすること」と語り、地域の皆さんが充実感を感じられるように、また熱心さのあまり作業時間が長くならないように、気配りをしていました。



第二校庭のほぼ全面芝生化(1,726㎡)

作業は金曜日の午後が基本。毎回20名程度。PTAの企画により親子で参加できる活動も実施。

## コラム

参加しやすい  
仕組みづくり

## 芝生の手入れは楽しいイベントに！

杉並区立桃井第五小学校

### ■みんなで植えよう ポット苗大作戦！

6月20日、桃井第五小学校では、100名近い参加者による夏芝の補植イベントが行われました。同校は、校庭のほぼ全面約2,200㎡を芝生化していますが、児童数が多く、芝生を保つには厳しい条件です。そこで、夏芝の生育を促して裸地化を抑えるために、今年は大規模な補植を取り入れました。

この日は、校庭の約半分の面積に50cm間隔で芝生のポット苗を植えるとして、その数4,000鉢。少人数では気が遠くなる数です。しかし、親子や仲間同士など大勢で、土と芝生の感触を楽しみながらの植え付けは、短時間で苦になりません。

参加者は、植え付け作業の終了後は、東京芝生応援団の株式会社伊藤園から提供された飲み物などを手に、笑顔で学校を後にしていました。

### ■楽しみながらみんなで続けるために

日常の芝生の手入れは、桃五小芝生を育てる会とPTAの芝生委員がとりまとめ役となって、各クラスの芝生係や保護者、地域の方々に呼びかけを行っています。一人でも多くの人に芝生の校庭に関心をもってほしいとの思いから、日常の手入れ作業をイベント化したり、スタンプラリーやお茶会(野点)を行うなど、参加して楽しめる工夫をしてきました。利用頻度の高い芝生ですが、大勢の人の協力により芝生を維持しています。



多くの児童が植え付けに参加。2ヶ月後には一面に緑が広がった。

# 校庭の芝生化は、地域にとって どんな効果がありますか？

シリーズ  
芝生の効用  
その3



磐田市生活文化部スポーツ振興課  
矢部課長補佐(左) 柴田副主任(右)

## —芝生とスポーツでまちづくり・磐田市の取り組み—

### ■「校庭芝生化」はまちづくりの重要な柱の一つ

磐田市は、市有施設やジュビロ磐田のホームスタジアムなど、市内に多様なスポーツ施設が集積しています。これら施設資源の活用とスポーツ振興を図ることによって、健康で活力あるひとづくり・活気あるまちづくりを目指す「磐田市スポーツのまちづくり基本計画」が平成15年度に策定されています。

小中学校の校庭芝生化は、同基本計画における重点整備テーマの一つに位置付け、子どもの体力向上と安全に楽しくスポーツができる環境づくりを目的として、全市をあげて推進しています。

## 地域のスポーツ資源活用効果

### ■芝生化の広がりとスポーツの普及

市内の芝生化校では、ジュビロ磐田やヤマハ発動機ジュビロの協力を得て、選手やコーチが訪れ、子どもたちと一緒に芝生の校庭を活用したスポーツプログラムを行っています。

このスポーツプログラムを通じて、タグラグビーなどが学校に導入されるようになりました。



芝生化校でのスポーツプログラム

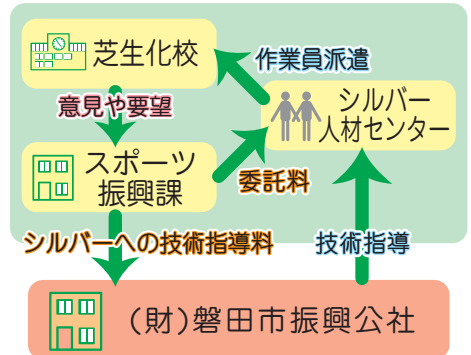
### ■タグラグビー全国大会出場の快挙！

東部小学校では、平成16年の校庭芝生化を機にタグラグビーをクラブ活動に取り入れたところ、平成22年までに「タグラグビー全国大会」に6回の出場を果たしました。

## 地域の人材ネットワーク活用効果

### ■市全体で芝生管理のバックアップ体制を構築

(財)磐田市振興公社は、芝生化校の維持管理をバックアップするため、定期的な巡回による芝刈りカスの回収や、芝刈り機の整備、芝生の補修などを行っています。また、学校からの要請に応じて電話1本で駆けつける体制をとっています。



### ■地域の人材を活用し、学校の負担を最小限に

維持管理作業にボランティアが関わる場合には、そのための体制維持が学校の負担となっていました。そこで、より適切かつ継続的な維持管理を行うために、磐田市はボランティアではない維持管理システム構築の一環として、地域のシルバー人材センターを活用し、芝刈りや散水などの作業を定期的に行っています。

また、磐田市では芝生化した全ての学校に同じ管理機器やスプリンクラーを整備し、シルバー作業員も教職員も一度覚えてしまえば、どの学校の機器でも扱えるようにしています。

これらは、近年全国的な問題となっている教職員の多忙化に配慮し、学校の負担を最小限にするための磐田市独自の工夫です。

## ～専門家のアドバイスで、より効果的・効率的に 手入れ作業を行うことができます

日野市立東光寺小学校

7月19日、東光寺小学校では、芝生の管理作業日に合わせて東京都から派遣された芝生専門家が訪れ、芝生の維持管理に関する実地講習会が行われました。

この日の作業は、芝刈りと雑草取り、散水でした。実際の作業内容に応じて、現地で専門家のアドバイスを受けることができるため、教職員だけでなく、保護者や地域住民の方など、芝生の管理に関わる皆さんのスキルアップが期待できます。

### 専門家からのアドバイス例

#### 現状:

夏芝の生育状況がよくありません。散水は朝・夕2回、6分ずつ行っています。

相談

#### 解析:

散水不足が考えられます。特に真夏は暑いので、昼間や夕方散水は湯をまくようなものです。散水は朝だけに限定の方がよいです。必要な散水量を設定しましょう。

#### 改善策:

散水は朝1回、自動散水の時間を10分に設定し直して、様子を見ることにしました。

アドバイス

レポート

実地講習会



# 東京芝生応援団のボランティア活動紹介

校庭芝生化に賛同する企業・団体が構成される東京芝生応援団が、校庭芝生化に取り組む学校を支援しています。

## ＜主な支援活動＞

- ・芝生維持管理への支援(物資の提供、作業ボランティアの派遣など)
- ・芝生を活用したイベントへの支援(芝生でのイベントの開催、配布物品の提供など)



東京芝生応援団では、芝生の維持管理に携わる方々の負担を軽減するため、応援団参加団体の社員・職員が都内の各学校で芝生の維持管理作業に参加しています。

平成22年度は、右の8社が芝生化実施校16校で作業に参加しました(23年1月末現在)。

## ■平成22年度 作業ボランティア活動実施団体 (五十音順)

- ◆ 株式会社 I H I
- ◆ 株式会社伊藤園
- ◆ J X 日鉱日石エネルギー株式会社
- ◆ 住友生命保険相互会社
- ◆ 田辺三菱製薬株式会社(MSC ボランティア・サロン)
- ◆ 東京コカ・コーラボトリング株式会社
- ◆ 三菱自動車工業株式会社
- ◆ リコーテクノシステムズ株式会社

## ■作業参加者からの声(抜粋)

作業の参加者からは、地域に貢献できた充実感が得られたことや、参加者自身のリフレッシュとなったことなど、参加者にとっても有意義な時間になったとの声が多く寄せられています。

- ◆ 「参加者一同気持ち良く芝を刈ることができました。地域社会への貢献活動として、今後も継続的に支援を行っていきたいです」  
(株式会社 I H I)
- ◆ 「猛暑の中でも、先生方やPTAの関係者の皆さんが、子どもたちにより良い環境を提供するために汗を流す姿に接し、すがすがしい気持ちになりました」  
(住友生命保険相互会社)
- ◆ 「今後も継続して活動を続けながら、PTAの方々、自治会の方々とも連携を取って地域貢献をしていきたいと考えています」  
(東京コカ・コーラボトリング株式会社)
- ◆ 「刈り終わった芝生で児童が元気に走り回る姿を想像しながら作業をしました」  
(三菱自動車工業株式会社)



児童との芝刈りの様子



参加者全員での記念撮影

東京都では、応援団参加団体が学校関係者の皆さんとの交流を深め、芝生の良さを実感しながら各学校の維持管理作業を支援する機会を今後も提供していきます。

支援のご希望がありましたら、まずは東京都環境局までご相談ください。

お問い合わせ先  
03-5388-3567  
東京都環境局  
校庭芝生化係

## 東京都からのお知らせ

東京都では芝生化に取り組む学校に技術的なサポートを実施しております。ぜひご活用ください。

### 実地講習会のお知らせ

—芝生化した学校で講習会を開催

東京都の補助金を活用して芝生化を実施した学校において、芝生の維持管理に関する実地講習会を開催しています。開催をご希望の場合は東京都環境局までご連絡ください。



「雑草の見分け方が  
わかった！」

### 技術相談窓口のお知らせ

—芝生の検討段階から専門家を派遣

東京都では、公立小中学校の校庭芝生化に関わる相談窓口を設けております。学校関係者の方や区市町村ご担当者の方からのご相談をお待ちしております。



「水をたっぷり  
あげてください！」

 東京都環境局

校庭芝生化事業 東京都は、公立小中学校の校庭の芝生化を推進しています。

東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 〒163-8001 都庁第二本庁舎9階南側  
電話(03)5388-3567 FAX(03)5388-1379 東京都環境局自然環境部緑環境課校庭芝生化係